

北見工業大学学報

第 216 号 (2006 年 7 月号)

目 次

入 試	平成 19 年度入学者選抜要項の公表……………2
	平成 19 年度編入学試験（推薦による選抜）の実施……………4
	平成 19 年度編入学試験（学力試験による選抜）の実施……………4
研究助成	平成 18 年度共同研究の受入状況……………5
	平成 18 年度受託研究の受入状況……………5
	平成 18 年度奨学寄附金受入状況……………6
人 事	人事異動……………7
	新任者紹介……………7
会 議	平成 18 年度道内国立学校等総務部課長会議及び 北海道地区国立学校等労務担当課長会議を開催……………8
諸 報	新任教員研修（第 2 回）を実施……………9
	父母懇談会（春季）を開催……………9
	奨学・奨励金授与式……………10
	「平成 17 年度ベストティーチング賞」表彰式を実施……………11
	トリノ五輪女子カーリング代表選手が講演……………12
	北見工業大学永年勤務者表彰式……………12
	株式会社北洋銀行との包括連携協定調印式……………13
	ISO14001 認証取得に強力な助っ人……………14
	「オープンキャンパス」の実施……………15
規 程	北見工業大学大学院規程の一部を改正する規程 （北工大達第 37 号）……………16
	北見工業大学学則の一部を改正する学則 （北工大達第 38 号）……………18
	北見工業大学ものづくりセンター規程 （北工大達第 39 号）……………19
	北見工業大学ものづくりセンター利用内規 （北工大達第 40 号）……………20
	北見工業大学ものづくりセンター長選考規程 （北工大達第 41 号）……………21
日 誌	6～7 月……………22

= 入試 =

平成 19 年度入学者選抜要項の公表

(入 試 課)

平成 19 年度入学者選抜要項が 7 月に公表されました。概要は以下のとおりです。

○募集人員

(人)

学 科	入学定員	募 集 人 員		
		前期日程	後期日程	推薦入学
機械システム工学科	80	35	30	15
電気電子工学科	80	40	28	12
情報システム工学科	60	25	25	10
化学システム工学科	60	30	14	16
機能材料工学科	50	18	22	10
土木開発工学科	80	32	32	16
合 計	410	180	151	79

注 後期日程の募集人員には、各学科とも帰国子女特別選抜の募集人員若干人を含む

○選抜方法等

一般選抜

	前期日程	後期日程
選抜方法	大学入試センター試験の成績及び出身学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。	大学入試センター試験の成績、本学が行う個別学力検査の成績及び出身学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。
出願期間	平成 19 年 1 月 29 日 (月) から平成 19 年 2 月 6 日 (火) まで	
試 験 日	個別試験は課さない	平成 19 年 3 月 12 日 (月)
合格発表	平成 19 年 3 月 6 日 (火)	平成 19 年 3 月 20 日 (火)

推薦入学

選抜方法	学校長より推薦された者について、調査書、推薦書の内容及び小論文、面接の結果を総合して行う。
出願期間	平成 18 年 11 月 1 日 (水) ~平成 18 年 11 月 7 日 (火)
出願要件	高等学校若しくは中等教育学校を平成 19 年 3 月卒業見込みの者で、次の二つの条件を満たし、かつ志望学科への能力・適性等について学校長が責任を持って推薦できるもの ①高等学校若しくは中等教育学校における学習成績・人物ともに優れ、特に数学、理科の成績が優秀な者 ②志望学科の分野に強い勉学意識と関心を持ち、大学での学習において優れた成果が期待できる者
選抜期日	平成 18 年 12 月 1 日 (金) (小論文・面接)
合格発表	平成 18 年 12 月 14 日 (木)

帰国子女特別選抜

選抜方法	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、成績証明書等の成績、小論文、面接の結果を総合して行う。
出願要件	略
出願期間	平成 18 年 11 月 1 日（水）～平成 18 年 11 月 7 日（火）
選抜期日	平成 18 年 12 月 1 日（金）（小論文・面接）
合格発表	平成 18 年 12 月 14 日（木）

○試験教科・科目・配点

		教科	科目	配点	合計
前期日程	センター試験 (5教科7科目)	国語	国語1科目	100	1000
		社会	地理歴史または公民から1科目	50	
		数学	数Ⅰ、数Ⅰ・Aから1科目	300	
			数Ⅱ・B、工業数理基礎から1科目 注①		
		理科	理科から2科目	300	
	外国語	外国語から1科目 注②	250		
	個別学力検査	課さない			
後期日程	センター試験 (5教科7科目)	国語	前期日程と同じ	50	1000
		社会		50	
		数学		100	
		理科		100	
		外国語		200	
	個別学力検査	数学	数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C	300	
理科		物Ⅰ・物Ⅱ、化Ⅰ・化Ⅱから1科目	200		

注①：工業数理基礎を選択できる者は当該科目の履修者等

注②：外国語のうち、英語にはリスニングテストを含む

平成 19 年度編入学試験（推薦による選抜）の実施

(入 試 課)

平成 19 年度編入学試験（推薦による選抜）が実施されました。
各学科別の合格者数等は次表のとおりです。

学 科 名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械システム工学科	10 人	2	2	2
電気電子工学科		2	2	2
情報システム工学科		0	0	0
化学システム工学科		0	0	0
機能材料工学科		0	0	0
土木開発工学科		3	3	3
合 計			7	7

平成 19 年度編入学試験（学力試験による選抜）の実施

(入 試 課)

平成 19 年度編入学試験（学力試験による選抜）が実施されました。
各学科別の合格者数等は次表のとおりです。

学 科 名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械システム工学科	若干人	0	0	0
電気電子工学科		0	0	0
情報システム工学科		5	5	3
化学システム工学科		0	0	0
機能材料工学科		0	0	0
土木開発工学科		0	0	0
合 計			5	5

= 研究助成 =

平成 18 年度共同研究の受入状況

(研究協力課)

平成18年7月31日現在

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等
機械システム工学科	助教	山田 貴延	消化ガス処理プラントにおけるマイクログリッドシステムの構築	月島機械株式会社
化学システム工学科	教 授	多田 旭男	常呂川水系水質調査研究	常呂川水系環境保全対策協議会
電気電子工学科	教 授	谷本 洋	高速アナログ回路技術	凸版印刷株式会社
土木開発工学科	教 授	榎本 浩之	マイクロ波/ミリ波を用いた遠隔雪氷観測システムの開発	三菱電機特機システム株式会社
土木開発工学科	教 授	大島 俊之	マリンホースの低温条件下における機能特性の研究	株式会社ブリヂストン 土木・海洋資材開発部
土木開発工学科	助 手	館山 一孝	オホーツク海におけるリアルタイムAMS R-Eデータを用いた海水情報システムの構築(その2)	(独)宇宙航空研究開発機構
土木開発工学科	助教	桜井 宏	旧土橋線コンクリートアーチ橋梁群等への自然散策路用構造物の保存活用に関する調査研究	上土幌町役場
地域共同研究センター	教 授	鞆師 守	将来電動車の寒冷地対応システム開発に向けた課題探索研究2	日産自動車株式会社総合研究所
土木開発工学科	教 授	鮎田 耕一	機能性コンクリートに適用する化学昆和物の研究	日産化学工業株式会社
地域共同研究センター	教 授	鞆師 守	熱応力緩衝機能群衆に関する共同研究	日産自動車株式会社総合研究所
土木開発工学科	教 授	大島 俊之	橋梁マネジメントシステムの開発に関する研究	(財)北海道道路管理技術センター
土木開発工学科	教 授	榎本 浩之	AMS R/AMS R-Eデータを用いた極域の氷表面の日変化の解析や積雪面の変動の研究	独立行政法人 宇宙航空研究開発機構
化学システム工学科	助教	山田 哲夫	建築廃材中の繊維状物質の簡易定量	株式会社 環境リサーチ
機械システム工学科	助教	山田 貴延	住宅用2.4時間換気システムに関する研究	エア・ウォーター・エモト株式会社
機械システム工学科	助教	松村 昌典	住宅用2.4時間換気システムに関する研究	エア・ウォーター・エモト株式会社
国際交流センター	助教	菅野 亨	ペーパーラッシュ炭化物(ブラックライト)の機能性評価に関する研究	道栄紙業株式会社
土木開発工学科	助教	桜井 宏	河岸等の生態系を考慮したコンクリート製品の研究	株式会社 北土緑化
機器分析センター	助教	南 尚剛	サロマ湖の水質調査に関する共同研究	(財)オホーツク地域振興機構
化学システム工学科	教 授	多田 旭男	北見市環境調査研究(騒音・振動、臭気、ダイオキシン類)	北見市
機械システム工学科	教 授	羽生 博之	水中リハビリ支援システムの開発と実用化のための実地試験と性能評価	美幌町民生部
情報システム工学科	教 授	藤原 祥隆	携帯電話を遠隔授業・講義システム端末として利用する際の汎用性の検証	株式会社KDD Iテクノロジー
電気電子工学科	教 授	谷本 洋	無線通信用アナログ回路技術	株式会社東芝

平成18年度累計62件

平成 18 年度受託研究の受入状況

(研究協力課)

平成18年7月31日現在

所 属	職 名	研究担当者	研究題目及び研究期間	委託機関	所要経費 円
土木開発工学科	助教	早川 博	北方圏での分布型流出モデルの開発と適用	(独) 科学技術振興機構	1,129,700
電気電子工学科	教 授	垣本 直人	キャパシタの性能向上手法に関する研究	日産ディーゼル工業(株)	677,250
機器分析センター	助教	南 尚剛	平成18年度GEMS/Waterベースラインモニタリング委託業務	独立行政法人 国立環境研究所	4,280,000

平成18年度累計 4件

平成18年度奨学寄附金受入状況

(研究協力課)

平成18年7月31日現在

所 属	職 名	研 究 者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 円
電気電子工学科	助教授	菅原 宣義	新潟下越雪害検討：塩雪害に関する事故解析と実証試験	株式会社 工学気象研究所	2,520,000
機械システム工学科	教 授	大橋 鉄也	計算工学による組織と特性予測技術に関する研究助成	社団法人日本鉄鋼協会	150,000
電気電子工学科	教 授	平山 浩一	『誘電率測定法に関する研究』にたいする研究助成	株式会社 関東電子応用開発	300,000
機械システム工学科	助教授	鈴木 聡一郎	医用工学研究のため	北見医工連携研究会	200,000
	学 長	常本 秀幸	北見工業大学奨学基金要領第1条に基づく教育の奨励	二俣 正美	300,000
電気電子工学科	教 授	田村 淳二	水素製造用風力発電の制御技術確立のための研究助成	株式会社 日立製作所 基礎研究所	480,000
機械システム工学科	教 授	富士 明良	コーヒー研究に対する助成	株式会社 ユニカフェ	500,000
土木開発工学科	助教授	早川 博	「海跡湖に注ぐ河川流域の土砂動態に関する研究」工学研究のため	財団法人 北海道河川防災研究センター	1,300,000
土木開発工学科	教 授	大島 俊之	橋梁用ゴム部材耐震機能装置の低温条件下における機能特性の研究	株式会社ブリヂストン(免震開発部)	300,000
土木開発工学科	教 授	大島 俊之	マリンホースの低温条件下における機能特性の研究	株式会社ブリヂストン(土木・海洋資材開発部)	250,000
土木開発工学科	教 授	佐渡 公明	「北海道内22気象官署降水量データを用いたT年確率降水量の経年変化解析」工学研究のため	財団法人 北海道河川防災研究センター	1,300,000
土木開発工学科	教 授	大島 俊之	道路構造の防災対策の検討	財団法人 北海道道路管理技術センター	300,000
土木開発工学科	教 授	鈴木 輝之	道路構造の防災対策の検討	財団法人 北海道道路管理技術センター	300,000
情報システム工学科	教 授	鈴木 茂人	画像処理の研究支援	株式会社 ジェイマックスシステム	1,000,000
国際交流センター	教 授	山岸 喬	コーヒー研究に対する助成	株式会社 ユニカフェ	500,000
土木開発工学科	助教授	後藤 隆司	工学研究のため	株式会社 豊水設計	100,000
土木開発工学科	教 授	森 訓保	工学研究のため	株式会社 豊水設計	100,000
土木開発工学科	助教授	三上 修一	工学研究のため	有限会社 アミューズ	100,000
土木開発工学科	教 授	大島 俊之	工学研究のため	有限会社 アミューズ	100,000
国際交流センター	教 授	山岸 喬	学術研究のための助成	共成製菓株式会社	700,000
機能材料工学科	教 授	青木 清	非パラジウム系水素透過合金に関する調査・研究のため	日立金属株式会社先端エレクトロニクス研究所	1,000,000
機械システム工学科	教 授	大橋 鉄也	塑性力学シミュレーションによる微細多結晶金属の変形挙動研究を助成する	株式会社本田技術研究所四輪開発センター	1,000,000
国際交流センター	教 授	山岸 喬	工学研究のため	株式会社 カイゲン	700,000
化学システム工学科	助 手	齋藤 伸吾	工学研究のため	株式会社 シノテスト	500,000
国際交流センター	助教授	菅野 亨	多孔性材料の研究開発に対する助成	有限会社 稚内グリーンファクトリー	200,000
電気電子工学科	教 授 教務職員	田村 淳二 高橋 理音	風力発電を含む系統の系統安定度解析および向上方策に関する研究	北海道電力株式会社	1,000,000

平成18年度累計 36件

= 人事 =

人 事 異 動

(総務企画課)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	異動内容
18. 6. 30	学生支援課生活支援係長	三浦 千春	辞職
18. 7. 31	総務企画課人事係事務職員	北澤 いくみ	辞職
18. 8. 1	情報図書課副課長	美村 光俊	情報図書課副課長 (情報図書課情報図書企画係長兼務)
〃	情報図書課情報図書企画係長	小野 恵子	学生支援課生活支援係長
〃	(新規採用)	西尾 貴則	総務企画課人事係
〃	(新規採用)	反保 聡史	情報図書課情報図書企画係

新 任 者 紹 介

(総務企画課)

○総務企画課事務職員に ^{にしお たかのり}西尾 貴則 氏

昭56. 1. 25生
平16. 3 公立はこだて未来大学システム情報科学部卒業
18. 6 北海道地区国立大学法人等職員採用試験合格
18. 8 北見工業大学総務企画課

○情報図書課事務職員に ^{たんぼ さとし}反保 聡史 氏

昭58. 11. 8生
平18. 3 北海道教育大学教育学部卒業
18. 6 北海道地区国立大学法人等職員採用試験合格
18. 8 北見工業大学情報図書課

= 会議 =

平成 18 年度道内国立学校等総務部課長会議及び 北海道地区国立学校等労務担当課長会議を開催

(総務企画課)

平成 18 年度道内国立学校等総務部課長会議及び北海道地区国立学校等労務担当課長会議が、去る 6 月 15 日・16 日の両日、本学を当番大学として開催された。

両会議は、道内の 7 国立大学、4 つの国立高専及び 2 つの国立青少年機関の総務担当部課長及び労務担当課長の意見・情報交換の場として毎年開催される。

15 日に開催された道内国立学校等総務部

課長会議では、道内大学共同事務処理体制、人件費削減の取組み状況などについて協議したほか、新昇給制度に係る勤務実績の給与への反映方法などについて活発な情報交換が行われた。

翌 16 日に開催された北海道地区国立学校等労務担当課長会議では、「労務管理等について」などを議題として各国立大学法人等の状況について情報交換が行われた。



議事風景

＝ 諸 報 ＝

新任教員研修（第2回）を実施

（教 務 課）

本学FD推進の一環としての新任教員研修を、6月2日（金）に実施しました。

本研修は、平成14年度の第1回以来4年振りに実施され、平成16年1月以降に採用された教員17人が参加しました。

当日は、常本学長の講話「本学の最近の課題」、大島副学長の講義「安全管理の考え方」、小林副学長の講義「中教審答申に見る高等教育の方向性と本学における取組みと課題」、高橋前副学長の基調講演「本学におけるこれまでのFDへの取組み」、中谷助教授の特別講演「金沢工大におけるFDへの取組み」が行われました。

特に、学長講話の中では、少子化に伴う学生確保の問題点、魅力ある教員像、教育力向上のためのポイント、また、これからの研究分野への取組み課題など、法人化3年目に入っ

た教員の在り方について具体的提言があり、これに対し受講した教員は熱心に聞き入っていました。

その後の懇親会では、講師陣と受講者の活発な意見交換が見られました。



講話する常本学長

父母懇談会（春季）を開催

（教 務 課）

例年、春・秋に開催している「父母懇談会（春季）」を、6月11日（日）北海道大学学術交流会館を会場として実施しました。

当日は、88組125名の父母が参加し、常本学長からは「本学の取組み課題」、「教員に求める教育力」、「魅力ある研究内容」等の現在、大学に求められている課題を中心に、小林副学長からは「高等教育における北見工業大学

の取り組みの現状と目標」、学生後援会会長からは「後援会の活動状況など」について説明がありました。

その後、各学科、専攻に分かれて行われた個別面談では、各学科の教員が対応し、父母からは修学状況、就職問題等について質問が出され、熱心にやりとりが交わされました。

また、個別面談までの待ち時間には常本学長、小林副学長により、父母との質疑応答等の時間が設けられ、大学生活の内容や学生をとりまく生活環境に焦点がおかれた質問や、学生が就職をするにあたって必要となるであろう基本的事項や情報収集、また資格試験の取得に関する質問が寄せられました。特に本学の最新情報を入手したいということから、本学のホームページのデータ更新を迅速に行ってほしいという意見が出され、父母からの大学に対する高い関心が示されました。



全体説明会の様子

奨学・奨励金授与式

(学生支援課)

本学における教育の奨励を目的に設けられた奨学基金による奨学・奨励金の平成17年度の授与式が6月25日(日)に行われました。今年度も昨年に引き続き、大学祭のイベントの一つとして附属図書館前広場大学祭特設ステージで行われ、学生、大学関

係者が見守る中18名が表彰されました。

表彰式では、常本学長から受賞者一人一人に賞状と記念品が授与されるとともに祝辞が贈られました。

受賞学生は次のとおりです。

	1年次	2年次	3年次
機械システム工学科	米山 一豊	宮本 泰志	遠藤 涼平
電気電子工学科	小林 斗志樹	荒巻 博行	山崎 拓哉
情報システム工学科	横山 文人	五十地 扶	山崎 伸也
化学システム工学科	島畑 淳史	濱屋 悟	澁谷 由香理
機能材料工学科	榎本 洋一	笹木 裕生	對馬 慎也
土木開発工学科	小岩 慎治	土田 悠樹	高柳 達徳

※学年は昨年度のものです。



集合写真

「平成 17 年度ベストティーチング賞」表彰式を実施

(教 務 課)

去る 7 月 3 日、平成 17 年度ベストティーチング賞の表彰式を実施しました。

同賞は平成 13 年度に創設されたもので、今回は平成 17 年度に実施した学生による授業評価の結果、授業に対する準備、熱意、指導などが顕著であるとされた教員 7 名（各学科 6 名、共通講座 1 名）が受賞し、このうち 3 名は 2 度目の受賞となりました。なお、授業形態や教材などの工夫で教

育改善が顕著であった教員を表彰する「エクセレントプログラム賞」の該当者はいませんでした。

表彰式では、学長から一人ひとりに盾が授与され、また受賞者に対してお祝いと激励の言葉が述べられました。

なお、受賞された方々は、以下のとおりです。

「ベストティーチング賞」

機械システム工学科	教 授	富 士	明 良
電気電子工学科	助教授	植 田	孝 夫
情報システム工学科	教 授	亀 丸	俊 一
化学システム工学科	教 授	吉 田	孝
機能材料工学科	助教授	村 田	美 樹
土木開発工学科	教 授	高 橋	修 平
共 通 講 座	助教授	鳴 島	史 之

「エクセレントプログラム賞」

該当者なし



学長を中心に

「平成 17 年度ベストティーチング賞」受賞者

トリノ五輪女子カーリング代表選手が講演

(教務課)

去る7月5日、トリノ五輪女子カーリング代表選手として活躍した小野寺歩、林弓枝のお二人を招き特別講演が行われました。

本学が昨年度から開講している学部科目「総合工学I」の一環として実施されました。

トリノでの競技の苦労話、なじみの薄いカーリング競技ルールの説明、スティックの扱い方の実演に聴講した学生約600人が熱心に聞き入っていました。熱気あふれる会場では、参加した学生から「是非カーリングをやってみよう」などの意見が出され、講演したお二人を喜ばせていました。講演の最後に、学生に対しお二人から「周囲の支えに感謝すること」「自分の夢に向かって一歩を踏み出す勇気を持つことの大切さ」のエールが送られました。

講演終了後、常本学長からお二人にお礼の言葉と本学からの記念の品が渡されました。



講演する小野寺 歩、林 弓枝両氏



スティックの扱い方を実演する様子

北見工業大学永年勤務者表彰式

(総務企画課)

国立大学法人北見工業大学永年勤務者表彰式が7月7日(金)15時より学長室において行われました。

今回の表彰は6月17日にご逝去された機械システム工学科森谷優助教授が37年の永い間、本学に勤務され、貢献されたことに感謝して執り行われたもので、常本学長から森谷夫人に対して表彰状の授与並びに記念品が贈呈されました。



表彰式

株式会社北洋銀行との包括連携協定調印式

(研究協力課)

去る7月21日(金)北見東急インにおいて、株式会社北洋銀行と本学は、地域経済の一層の活性化と自立的発展に資することを目的とする協定書締結の調印式を行いました。

本学、北洋銀行の関係者が見守る中、株式会社北洋銀行の横内頭取と本学の常本学長が相互に協定書に調印しました。

この協定書により今後、①新たな産学連携モデル、大学が有する知的財産の有効活

用等の研究、②大学発ベンチャー、新事業・新規事業分野に関する情報交換及び支援、③相互の人的支援、人材育成に関する協力、④その他、本協定の目的達成のため必要な事項について事業の推進をしていくこととなります。

本協定書締結により研究交流、人材交流、及び人材育成等の幅広い分野で実りある産学官金連携の成果と一層の地域貢献が期待されます。



協定書を取り交わす常本学長と横内頭取

ISO14001 認証取得に強力な助っ人

(施設課)



常本学長、大島理事、亀丸専門委員会委員長と環境保全学生委員会の学生

本学の中期目標・中期計画には、平成18年度にISO14001認証取得を目指すことが明記されており、現在、施設環境委員会の下にISO14001取得専門委員会を設置し、粛々とその作業を進めているところです。

しかしながら、この認証取得には全学の約8割を占める学生の協力が不可欠であるため、急遽、協力してくれる学生を募集したところ、情報システム工学科4年生 林 雅紀さん、化学システム工学科4年生 戸ヶ崎 寛考さん、機能材料工学科3年生 小野 祐介さん、化学システム工学科2年 小笠原 知美さん、機能材料工学科2年生 岸野 裕絵さん、機能材料工学科2年生 兵吾 真由さんの有志6名が協力をかって出してくれました。

6名の学生の活動母体には環境保全学生委員会という名称がつけられ、7月25日(火)昼休みに常本学長自ら、任命書と直筆の冊子「美しい地球を子孫に」を手渡し、認証取得への協力を依頼しました。

学生は、冊子に学長より個々人の名前と「美しい構内を後輩に」のサインをしていただいた文字を目にし、感激を新たにしておりました。

今後は、ゴミ分別状況の調査等を手始めとして、数々の協力を願うこととなっており、多くの学生をこの活動に引き入れていただき、また牽引してくれることを期待されています。

「オープンキャンパス」の実施

(入 試 課)

7月29日(土)に大学進学を希望する高校生等を対象としたオープンキャンパスが開催され、道内外から父母、高等学校教諭等を含む178人(昨年比42人増)が参加しました。学長挨拶から始まり、各学科紹介のリレートークに続き、在学生によるキャンパス案内が行われました。

また、大学生協の協力で、学食体験として参加者全員に大学生に人気のメニューが提供され、こちらも大変好評な企画となりました。

午後は各学科において体験学習が行われ、参加者は熱心に取り組んでいました。最後に生協食堂においてブース形式による各学科や在学生による個別相談を実施して終了しましたが、当日は、北見らしい晴天にも恵まれ、参加者からは大変好評な感想が得られました。



体験学習①



体験学習②



学食体験



個別相談

＝ 規 程 ＝

(16ページから21ページまで、掲載略)

= 日誌 =

(総務企画課)

- 6月 2日 新任教員研修
5日 企画運営会議
7日 教育研究評議会
7日 地域共同研究センター座学官連携推進員会議
9日 教育研究組織検討会議
11日 父母懇談会（春季）札幌
12日 教務委員会
14日 編入学試験（推薦による選抜）
15日 道内国立学校等総務部課長会議
15日 北海道地区国立学校等労務担当課長会議
19日 企画運営会議
20日 広報委員会
20日 入学者選抜委員会
21日 教授会、研究科委員会
21日 編入学試験（推薦による選抜）合格発表
23日 経営協議会、役員会
23日 休講（大学祭準備）
23日 第1回就職ガイダンス
24日 第44回大学祭（～25日）
26日 教育研究組織検討会議
- 7月 3日 企画運営会議
3日 KITげんき会総会
5日 編入学試験（学力試験による選抜）
6日 教育研究組織検討委員会
6日 教育研究評議会
7日 永年勤務者表彰式
7日 附属図書館委員会
10日 企画運営会議
11日 第3回国際交流委員会
11日 入学者選抜委員会
12日 教授会、全学説明会
12日 第1回公開講座（～8/9）
12日 編入学試験（学力試験による選抜）合格発表
21日 北洋銀行株式会社との包括連携協定書調印式
21日 発明審査委員会
25日 金曜日授業振替日
26日 前期定期試験（～8/4）
28日 地域共同研究センター座学官連携推進員・協力員合同会議
29日 オープンキャンパス
31日 地域連携推進委員会